

# 寺報 佛心

第51号

## 秋のお彼岸について

九月二十三日十時よりお彼岸総供養を長久寺で行います。

## お彼岸廻りについて

左記の日程でお参りします。戸が開けばお留守でもお勤めをさせていただきます。ご都合の悪い方はご連絡ください。  
九月十五日午前 友重・平原  
十六日午前 野登路1班  
十七日午前 野登路2班  
十九日午前 市原1班  
二十日午前 市原2班  
二十一日午前 国木原1班  
二十二日午前 国木原2班  
地区外の方でご希望の方は、ご連絡下さればお伺いします。

## お知らせ

今年も天龍寺参拝は延期



今年も天龍寺参拝は延期となっており、第七教区主権の大本山天龍寺への団体参拝は、教区内の都合により今年も中止させていただきます。来年はしっかりと計画を練りたいと思っておりますので、ご意見ご要望をお寄せください。  
お月見会も中止  
定例としたかった行事ですが、今年もお月見会は中止とします。来年をご期待ください。

## 日輪山 長久寺

### 【発行所】

岩国市美和町生見八一七  
電話 〇八二七(九六) 〇九八二  
FAX 〇八二七(九六) 〇九八二  
発行人 三上宗順

## 幸せになる方法 その5

ドイツの格言に「どうにもならないことは、忘れることが幸福だ」とあるそうです。またある本にも「ネガティブな感情が心を支配しては、幸福感は得られない。それを取り除く方法の一つが忘れる事だ」とありました。格言などを持ち出すまでもなく、「いつまでもよくよするな。忘れる」なんてアドバイスをよく受けたります。

## 禅の語に「無処住心」(むしよじゅうしん)というのがあります。とらわれない心と

「ああ」と頭を抱えたりする。逆に大事な事を忘れて大失敗なんてこともある。むかし「忘却とは忘れ去ることなり、忘れ得ずして…」なんてのもありましたね。

よく「心」は、川の水に例えられます。水は、川の状況で自在に変化し、瀬や淵になりダムでは腐る。今流れた水は二度と帰ってはこない。

感情や記憶は人間に当然備わっているもの、否定しては現実生活はあり得ません。案外忘れる努力は「ダム」を造るようなもの。激しい感情も流れにまかせておけば、その内さらさらと穏やかな流れになるのでしょう。とらわれない心。幸せになる方法ですね。

地獄に落ちないための話…

墓地参道の草取りを盆ま  
でには終えたいと意気込ん  
で出たものの、四時過ぎて  
も太陽はジリジリと容赦な  
い。30分すると顔からぼ  
たぼた全身びっしやり。

草取り鎌で石ころをひっ  
くり返すと細いミミズが伸  
びたり縮んだり。しかしか  
まってられないからガリガ  
リ進んでいく。

ひよいと打ち付けた鎌の  
先に干からびたミミズ。お  
そらくさっきのやつ。地上  
に出て数分で熱中症になっ  
たらしい。「オツとと危な  
い」あわてて麦茶を飲みま  
した。「地球沸騰」の時代。  
老化の為か最近のどの渴  
きを感じなくなっているよ  
うです。水分量のセンサー  
が体にあつて「水分が減り  
ました〇〇補給して下さい」

などと音声で知らせてくれ  
ればありがたいのに…。

体の60%が水分らしく  
10%無くなると死ぬこと  
もあるそうです。

人間は高度な科学文明を  
手にしながら、ミミズと同  
じひ弱なもの。おそらく人  
間だけがこのひ弱さもいつ  
かは死ぬことも知っている。  
転べば血が出、骨折した  
りする。蜂に刺されて死ぬ  
こともある。失敗したり嫌  
なことを言われると落ち込  
む。心も弱く、絶望に陥る  
こともある。

逆に自分の考えを押し付  
けたり他人の言うことに全  
く耳を貸さなかつたり、  
ちよつとばかり腕力や知識  
や財力があると、ひけらか  
し人を見下す傲慢さがある。  
また誰もこの両面の矛盾  
の中に生きていることを

知っていて、この不安定な  
心身には何かの支えが必要  
だと思っている。つまり杖  
のようなもの。それは家族  
や友人の愛情だったり、隣  
近所の支援だったり、宗教  
もその一つですね。

大本山天龍寺の開山夢窓  
国師は「夢中間答」(西村  
恵心著)の中で「衆生はな  
ぜ生死の苦海に沈むかとい  
うと、この自分の身が可愛  
いばかりに、自分の利益ば  
かりを追求し、そのために  
様々な罪を造ってしまうか  
らである。そういうことが  
分かるならば、自分のこと  
は後にして、まず他の苦し  
んでいる人に役立つことは  
ないかと心を起こすことだ。  
そうすれば自然に大慈悲心  
の心が自分の中に沸き起  
こつてきて、仏の心とびた  
りと一つになるから、自分

の為になるような善い行い  
をしなくても、限らない善  
根がひとりでにできあがり、  
自分の為に仏道を求めなく  
ても、仏道は直ちに成就す  
るのであるう。」

「ああーなるほどね」と  
分ったつもりでも三日すれ  
ば忘れる。苦海から出られ  
ないはず。しかし「忘れる」  
のも悪いばかりじゃない。  
人間は不思議な動物ですね。  
そうそう冒頭のあのミミ  
ズ、危険な暑さを身を挺し  
て教えてくれたのだとした  
ら、ミミズの大慈悲心に私  
は助けられたことになりま  
す。善行を積んだミミズは、  
きつと苦海を脱して天界に  
生まれ変わったことではし  
ょう。それに引き換えミミズ  
を見殺しにした私は、何と  
も冷酷な破戒ボーズ！  
地獄に真つ逆さまじゃー！